

## 2021 年度支部長報告 2021 年度支部長 慶野 正司

コロナ禍において求められる行動変容はこの一年の経験から社会に定着しつつあり、それに伴い JIA のオンライン化活動もすっかり常態化して参りました。就任 2 年目の 2021 年度支部活動始動にあたり JIA 活動の主体となる委員会活動や地域会活動の活性化にむけて支部の役割は活動のプラットフォームを整備すること。また本部や支部委員会・地域会との連携促進を図りつつ、既にある様々な課題対応やコロナ禍がもたらす「新しい時代」の活動に対応する環境整備を推進することを基本方針として活動して参りました。

支部年間活動は以下の各テーマを重点課題とし昨年度に続き WG を組織し推進いたしました。

- ① 委員会・地域会との連携強化 【委員長・地域サミット WG】
- ② 法人協力会員との連携強化 【法人協力会員技術セミナーWG】
- ③ 建築家資格制度・登録建築家制度の啓蒙と課題検討 【資格制度勉強会 WG】
- ④ 学生会員・若手会員のフォローおよび活動ステージの整備 【学生会員フォローWG】
- ⑤ 実績を活かした発注者支援業務の拡大 【発注者支援 WG】
- ⑥ オンライン・プラットフォームの整備
- ⑦ 今後の活動形態の模索と対策
- ⑧ 多彩な手段による戦略的広報の新たな展開
- ⑨ コロナ禍および会員減少に耐える財務体系の検討

常任幹事会を中心に課題別 WG を推進してきた中で、学生会員の活性化は目覚ましく進んでいます。その名称を「学生の会@joint」と学生自ら命名し、支部内での組織的な位置づけを明確にしました。学生会員の自主的な活動の企画・運営を通して自らの知見を高めると共に JIA のプレゼンスを高める一役を担っています。建築界の将来を担う学生各位の今後の活躍に期待が膨らみます。また、今後の活動のオンライン化を見据えて配信機材を購入し各会議体にもその活用を徐々に広げ JIA のネット配信リテラシーを高めつつ事業形態の選択肢を広げるよう努めて参りました。更に恒例となった「委員長・地域サミット合同会議」では、支部全体の課題共有や意見交換、また委員会と地域会の縦横の情報共有により連携を促しより高い効果を求めて年 3 回開催いたしました。今後は特にセクショナリズムにとらわれず活動テーマを共有した柔軟な連携活動の必要性を感じています。

その他の活動状況は、支部内の 23 地域会、17 委員会、12 部会、3 支部事業の会議体においてコロナ禍でやはり今年も中止・延期を余儀なくされた事業も数ある中、オンライン開催など工夫しながら JIA の公益活動を推進し当初の計画通りとはいかないまでも数々の成果をあげて参りました。

最後に私事、本年度で 2 年間の支部長職退任に際し会員各位のご理解ご協力に感謝し、そして何より熱意ある皆さまのご尽力に敬意を表する次第です。2 年間ありがとうございました。